

【4代目 猪瀬会長】

<p>平成 23 (2011) 年</p>	<p>8月6日</p>	<p>○第1回研究協議会 於：淑徳短期大学板橋キャンパス テーマ：東日本大震災の状況とアビリティーズの取 り組みについて／障害の重い子どもとインクルー シブ教育／22世紀生命の時代への序章Ⅱ ①全体会講演 中村靖彦氏（NPO 法人日本アビリティーズ教会理 事、東日本総括担当） ②シンポジウム ○シンポジスト ・岩井雄一氏（元全国特別支援学校校長会会長） ・大内進氏（独立行政法人国立特別支援教育総合 研究所上席総括研究員） ・渡邊健治氏（東京学芸大学教授・元東京学芸大 学副学長） ○指定討論者 柳本雄次氏（元筑波大学教授）</p>	<p>障害者基本法改正</p>
<p>平成 24 (2012) 年</p>	<p>8月4日</p>	<p>○第2回研究協議会 於：淑徳短期大学板橋キャンパス テーマ：アビリティーズ運動と障害者差別禁止法実 現への取り組み状況／ 22世紀生命の時代への序章Ⅱ ①全体会講演 伊東弘泰氏（特定非営利活動法人日本アビリティ ーズ協会会長、内閣府障がい者制度改革推 進会議 差別禁止部会 副部会長） ②シンポジウム ○シンポジスト ・中西 勉氏（国立障害者リハビリテーションセン ター） ・二宮大祐氏（イオン株式会社グループ人事部長） ・清水聡氏（筑波大学附属桐が丘特別支援学校） ○指定討論者 ・五十嵐正人氏（ばおばぶ代表・植草学園短期大 学非常勤講師）</p>	<p>一中教審報告初中分 科会報告（共生社会 の形成に向けたイン クルーシブ教育 システムの構築のた めの特別支援教育の 推進 → 就学相談・ 就学先決定の在り 方、 合理的配慮、多様な 学びの場の整備、教 職員の専門性向上 など）</p>
<p>平成 25 (2013) 年</p>	<p>8月3日</p>	<p>○第3回研究協議会 於：淑徳短期大学板橋キャンパス テーマ：共生社会とインクルーシブ教育システム 22世紀生命の時代への序章Ⅲ～共生社会とインク</p>	<p>障害者差別解消法制 定（合理的配慮提供 の法的義務など（施 行日：一部を除き</p>

		<p>ルーシブ教育について～</p> <p>①全体会講演 大南英明氏（全国特別支援教育推進連盟 理事長）</p> <p>②シンポジウム ○シンポジスト ・日高浩一氏（東京都立水元特別支援学校） ・中野雅義先生（駒込福祉作業所） ・土平俊子先生（UR「みまもり住宅」奈良北プロジェクト総括管理者、保健師・看護師） ○指定討論者 ・中西勉先生（国立障害者リハビリテーションセンター）</p>	H28. 4) 一就学制度改正（「認定就学」制度廃止、総合的判断（本人・保護者の意向を可能な限り尊重）など）
平成 26 (2014) 年	8 月 2 日	<p>○第 4 回研究協議会 於：淑徳短期大学板橋キャンパス テーマ：インクルーシブ教育と障害者権利条約 22 世紀生命の時代への序章Ⅳ～共生社会とインクルーシブ教育の展望～</p> <p>①全体会講演 尾崎祐三先生（国立特別支援教育総合研究所教育支援部上席総括研究員（学校教育支援担当）・（兼）部長）</p> <p>②シンポジウム ○シンポジスト ・丹野哲也氏（文部科学省初等中等教育局特別支援教育課特別支援教育調査官） ・五十嵐正人氏（ばおぼぶ代表・植草学園短期大学非常勤講師） ・渡邊健治氏（畿央大学大学院教育学研究科教授） ○指定討論者 ・猪瀬義明（川村女子学園大学教育学部児童教育学科教授・本研究会会長）</p>	平成 26 年一障害者権利条約批准
平成 27 (2015) 年	8 月 9 日	<p>○第 5 回研究協議会 於：淑徳短期大学板橋キャンパス テーマ：前例がなければ作ればいい／普通に生きる＝インクルーシブに生きる 22 世紀生命の時代への序章Ⅴ～共生社会とインクルーシブ教育について</p> <p>①全体会講演 青野浩美氏（ソプラノ歌手）</p> <p>②トークセッション ○シンポジスト ・青野浩美氏（ソプラノ歌手） ・橋本美佐男氏（松戸市喜楽家施設代表） ・佐野俊也氏（アビリティーズ・ケアネット株式</p>	

		<p>会社営業推進本部推進部販促課課長</p> <p>○指定討論者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後藤貴之氏（東京都立北特別支援学校） 	
平成 28 (2016) 年	8 月 6 日	<p>○第 6 回フォーラム i n JMER</p> <p>於：淑徳短期大学板橋キャンパス</p> <p>テーマ：障害者差別解消法とインクルーシブ教育</p> <p>平成 29 (2017) 年</p> <p>①全体会講演</p> <p>岩井雄一氏（十文字学園女子大学教授）</p> <p>②トークセッション</p> <p>○話題提供者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・猪瀬剛氏（NPO ライフアシスト Familish 理事） ・日高浩一氏（東京都立水元特別支援学校教諭） ・松井宏昭氏（社会福祉法人青葉会理事長） ・伊東弘泰氏（特定非営利活動法人日本アビリティーズ協会会長、元内閣府・障害者政策委員会差別禁止部会副部会長） 	<p>中教審答申</p> <p>*資質・能力の三つの柱に基づく教育課程の枠組みの整理。</p>
	9 月 18 日	<p>○日本特殊教育学会自主シンポジウム（新潟大会）</p> <p>障害の重い子どもを含めたインクルーシブ教育の展望</p> <p>～日本重複障害教育研究会が重ねてきた 6 回の研究協議会を総括する～</p>	
平成 29 (2017) 年	8 月 5 日	<p>○第 7 回フォーラム i n JMER</p> <p>於：アビリティーズ・ケアネット（株）本社ショールーム</p> <p>テーマ：共生社会の実現のために今、何ができるか？～地域支援の最前線～</p> <p>①パネルディスカッション（午前）</p> <p>○パネリスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・星 茂行氏（葛飾区教育委員会事務局指導室学校教育支援担当係長） ・日高 浩一氏（東京都立水元特別支援学校主幹教諭、特別支援教育コーディネーター） ・奥野 英子氏（元筑波大学大学院教授） <p>○指定討論者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田中 裕一氏（文部科学省初等中等教育局特別支援教育課特別支援教育調査官） <p>②フリートークセッション</p>	
	9 月 17 日	<p>○日本特殊教育学会自主シンポジウム（愛知大会）</p> <p>共生社会の実現のために今、何ができるか II</p> <p>～すべての子どもを対象とした地域支援の最前</p>	

		線～	
平成 30 (2018) 年	8 月 11 日	<p>○第 8 回フォーラム i n JMER 於：アビリティーズ・ケアネット（株）本社ショールーム テーマ：共生社会の実現のために今、何ができるか？～地域の共生社会をデザインする多職種連携について～</p> <p>①パネルディスカッション</p> <p>○パネリスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・阿部 謙策氏（葛飾区立梅田小学校長） ・北村 弥生氏（国立障害者リハビリテーションセンター社会適応システム開発研究室室長） ・西井 和也氏（アビリティーズ奈良北みまもりサービス事業所所長） <p>○指定討論者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・星 茂行氏（葛飾区障害福祉課自立支援係長） <p>○総評者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田中 裕一氏（文部科学省初等中等教育局特別支援教育課特別支援教育調査官） 	
	9 月 22 日	<p>○日本特殊教育学会自主シンポジウム（大阪大会） 共生社会の実現のために今、何ができるか II ～地域の共生社会をデザインする多職種連携について～</p>	
平成 31 (2019) 年	8 月 3 日	<p>○第 9 回フォーラム i n JMER 於：アビリティーズ・ケアネット（株）本社ショールーム テーマ：共生社会の実現のために今、何ができるか？Ⅲ～一人ひとりが主体者となれるダイバーシティと多職種連携～</p> <p>①全体会講演（午前）</p> <p>伊東弘泰氏（特定非営利活動法人日本アビリティーズ協会会長、元内閣府・障害者政策委員会差別禁止部会副会長）</p> <p>②パネルディスカッション（午後）</p> <p>○パネリスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・星茂行氏（葛飾区障害福祉課相談係長） ・後藤貴久氏（東京都立青鳥特別支援学校教諭） ・高橋一公氏（東京未来大学教授、モチベーション行動科学部長、同通信教育課程長、モチベーション研究所所長） <p>○指定討論者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田中 裕一氏（文部科学省初等中等教育局特別支援教育課特別支援教育調査官） 	

	9月22日	○日本特殊教育学会自主シンポジウム（広島大会） 共生社会の実現のために今、何ができるか Ⅲ ～一人ひとりが主体者となれるダイバーシティ と多職種連携～	
--	-------	--	--